

## 坪院長の健康講座

### 泌尿器科で扱う臓器と疾患について

院長 坪 俊 輔



なお男女で大きく違う部分は、陰茎・精巣・精巢上体・前立腺・精囊腺です。それらの臓器に悪性腫瘍ができたり炎症が起きたり、時に先天異常や外傷などで治療が必要

です。腎臓は言うまでもなく尿を作り出して老廃物を排泄させる臓器です。この機能が低下すると腎不全となり、透析療法が必要になる事もあります。

以上、今回は泌尿器科領域で扱う臓器と比較的频率の多い疾患について概略をお話ししました。

このシリーズも早いもので第22号となりました。今回は第3号でもとりあげました「泌尿器科で扱う臓器と疾患」についてもう一度お話ししてみます。

泌尿器科では図1・図2に示したように、主に副腎・腎・尿管・膀胱・前立腺・精囊腺などの後腹膜臓器(厳密に言うと、胃や腸は腹膜という袋の中にありますが、後腹膜臓器は体内にはあるものの、腹膜で囲われた袋の外にある)及び陰茎・精巣・精巢上体を扱います。

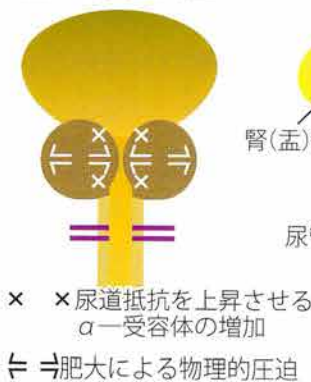
図1に示すように、泌尿器科領域では腎・尿管・膀胱にできる尿路結石症が多く見られます。図4に示すように、最近では観血的手術は殆どなく、低侵襲治療が主体となつています。

図1に示すように、泌尿器科領域では腎・尿管・膀胱にできる尿路結石症が多く見られます。図4に示すように、最近では観血的手術は殆どなく、低侵襲治療が主体となつています。

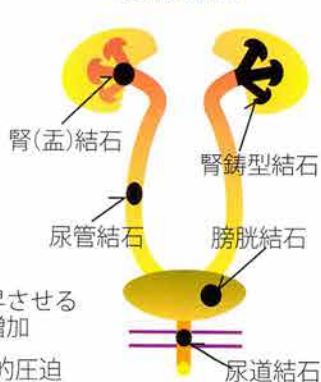
図2に示すように、女性では前立腺肥大症はみられません。図3に示すように、悪性腫瘍は腎臓、尿管、膀胱、前立腺、精囊腺、陰茎などに発生します。

図5に示すように、前立腺肥大症は男性に特有の疾患です。図4に示すように、尿路結石は腎臓、尿管、膀胱、尿道に発生します。

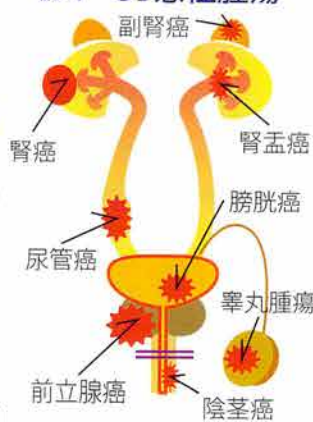
【図-5】前立腺肥大症



【図-4】尿路結石



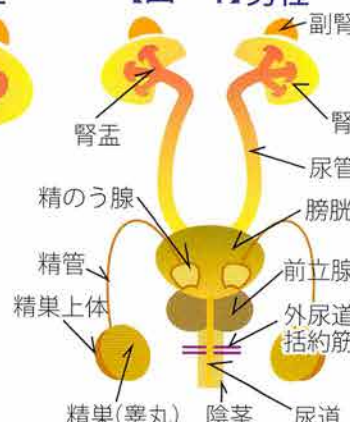
【図-3】悪性腫瘍



【図-2】女性



【図-1】男性



# 開院8周年記念 パーティー開催

開院8周年記念パーティーが7月7日、伊達市内のホテルロイヤルで開かれました。開院の理念を忘れることなく、専門病院として地域医療の中核を担う使命と、高い意識を保持する目的で毎年行っています。

パーティーは竹内副院長のあいさつで開会、仲山副院長の乾杯で懇親会がスタートしました。今年も坪院長、麻酔科の加藤先生、横井事務長がそろって



## さらなる発展を誓い合った

地域に貢献する病院を目標に開院、新たな雇用の場も創出した結果として、この度の職場内結婚は、大きな喜びがあります。また、今春採用された新人職員の紹介もあり、さらに地域から信頼され、期待される病院を目指し、役職員が一丸となって、理想の実現を誓い合いました。



新人職員の自己紹介も

も、横井事務長がそろって還暦を迎えた記念の年でもあり、出席者が今後の活躍に期待し、お祝いしました。

また、開院以来初のカップルが無事？ゴールイン。目出度く結婚となり、会場は歓喜に包まれ、記念パーティーは大いに盛り上

## 還暦を迎えて...



今年、当院の坪院長と麻酔科の加藤先生、そして私横井は還暦を迎えました。1952年(昭和27年)の辰

年生まれです。

いままでも沢山の先輩たちの還暦祝いに出席したり、祝賀会の準備もして来ましたが、いざ自分が還暦となるといまいちピンと来ません。

最近では65歳定年の企業が多くなって来ましたが、まだ還暦を機に現役引退とする企業が大半です。

であれば今年でお役御免と言われてもしょうがなく、この世知辛い世の中、お祝いどころではないと思う人が多いのではないのでしょうか。

また50年は半世紀ですが、60年は中途半端な数字と思われがちです。でも西洋では60年を象徴とする風習があり、結婚60周年はダイヤモンド婚式として盛大にお祝いするようです。

私も平成18年に洞爺湖温泉の老舗洋食店「望羊蹄」の開業60周年や、翌19年には伊達キリスト教学園「伊達幼稚園」の創立60周年記念式典・祝賀会をお手伝いして来ましたが(これは西洋つながり)。

そう考えると、60年は中途半端な数字ではなく重要な節目の年、成人式ならぬ「還暦式」と呼ばれる式典を行う自治体もあると聞いていますので、ここは素直にお祝いしてもらおうと考えています。

(事務長 横井浩)



## ブラボーな演奏中断

○：今年1月、アメリカで開かれたニューヨーク・フィルのコンサートで、鑑賞者の携帯電話が数分間鳴り響き、指揮者が演奏を中断するハプニングが話題になりました。プログラムは、マーラーの交響曲第9番。「別れ」、「死」をテーマに、マーラーの最高傑作ともいわれる作品。死の恐怖との闘い、断末魔のうめき声、最後の静寂を表現する曲想で構成されています。問題の携帯音は終盤の4楽章後半、曲のクライマックスといえる状況で発生しました。

○：指揮者のアラン・ギルバート氏は、余りにも長い音の進入に演奏を中断し、鳴り止むのを待ち、中断した箇所から演奏を再開したそうです。この対応に賛否両論があり、ネット上で様々な意見の交換があったようですよ。

○：このような問題は、昔からいろいろとありました。楽章間での拍手や、演奏中の退席など、数々の話題を生んでいます。なかにはこつこつとしたマナー違反に激怒し演奏を中止、演奏会自体を途中キャンセルした、大人気ないプレーヤーもいました。

○：報道によれば、携帯の音がマリンバによる演奏音で、「楽音」であったこと。最前列の客席で、演奏者、指揮者の耳に確実に届き、演奏の妨げになっていたこと。当の本人が自分の携帯とは気付いてなく、長い間鳴り続けていた。以上の状況から、会場内はある種異様な状況にあったことが、容易に想像できます。

○：緊張の糸が見事に切断されました。演奏継続は、非常に後味が悪い結果になったことでしょう。中断は、悪気のない当事者の失態を許したと見ます。この判断により、会場の険悪な雰囲気は緩和されました。指揮者は「もうよろしいですか？」とユーモアたっぷりに確認、演奏再開です。

○：クラシック・コンサートには様々な約束事があり、それがいろいろ誤解を招く結果につながっています。「一度聴いてみたいが、敷居が高い」が代表的なものです。しかしこのマナー、要は「相互理解」であり、それは一般社会でいうモラルに通じます。全体の流れや空気を感知、場の雰囲気を書さないことで、がんじがらめの決まりではありません。前回の演奏会キャンセルの演奏家は「私は命を賭けている」といいますが、聴衆は命を賭けていません。これこそ立派なマナー違反です。人生だってやり直すことができます。演奏をやり直すことくらい、いいじゃないですか。



## 医療機器の正常な稼働を整える安全な体制を…



「臨床工学技士法」  
87年に制定された  
臨床工学技士は  
まだ一般的では  
ない国家資格

「生命に直結する  
重要な使命担う」  
飛躍的に進歩する医療  
現場のなかでも、医療機器  
の技術革新には目を見張  
るものがあり、日常の保守  
を含め、臨床工学技士の役  
割には重要なものがあり  
ます。当院では5人の技士  
がその業務を担っており、  
主に透析室を中心に、毎週

火・水・木の手術日にも  
対応しています。  
勤務は齊藤光俊技士長  
を中心に、日勤と準夜勤の  
交替勤務制で対応、平均  
年齢26・6歳の若手中心  
の精鋭部隊で、明るさと元  
気の良さで日々の業務に  
臨んでいます。  
齊藤技士長は「若さは  
長所も多いが、キャリア不  
足も」と問題も認識  
し、「生命に直結す  
るだけに、失敗は許  
されない」「緊張感  
を絶やさず、万全の  
体制を維持する」と  
熱い気持ちを忘れ  
ずに取り組んでい  
ます。

に基づいた、比較的新しい  
国家資格で、一般にはまだ  
馴染みの薄いものといえま  
す。役割は簡単にいうと、  
各種医療機器の適切な使  
用と保守管理になります。  
医師の指示の下、医療機器  
を用いたチーム医療の一  
員として、生命維持をサ  
ポートする役割を担って  
います。  
当院の主要な医療機器  
は、透析監視装置(40台)、  
単身用透析監視装置(1  
台)、水処理装置(1台)な  
ど、透析室に関連したも  
の、麻酔器、生体情報モニ  
ター、電気メスなどの手術  
室関連から、人口呼吸器  
など、相当数の医療機器  
操作と保守が対象となっ  
ています。  
業務内容としては、病棟  
での血液透析、血液ろ過、  
血漿の吸着・交換から対  
外衝撃波結石破碎(ES  
WL)に至るまで、当院の  
核となる部分を占める重  
要な職場であり、それらを  
しっかりと認識し、患者様へ

の安全な医療提供に貢献  
していきます。  
**業務目標を掲げ  
初心を忘れずに**  
安全で安心な医療を提  
供するため、臨床工学技  
士の役割も非常に重要な  
ものとなります。特に伊達  
のような地方では、故障な  
どによる非常事態の時、  
メーカーからの派遣にタ  
イムラグがあり、現場での  
対応が不可欠で重要なポ  
イントとなります。  
研修会への派遣を含め、  
新しい技術への対応とスキ  
ルアップ、非常時に対応で  
きる技術習得に日頃から  
心がけています。また、技  
術だけに偏らず、患者様と  
の対話と気遣いも注意、  
配慮し上質な医療提供の  
実現のため、業務目標を掲  
げ取り組んでいます。  
患者様の笑顔を頂くこ  
とを最終目標に、皆様に必  
要とされる人材になれる  
よう、精いっぱい頑張りま  
す。どうぞよろしく願ひ  
します。

「生命に直結する  
重要な使命担う」  
飛躍的に進歩する医療  
現場のなかでも、医療機器  
の技術革新には目を見張  
るものがあり、日常の保守  
を含め、臨床工学技士の役  
割には重要なものがあり  
ます。当院では5人の技士  
がその業務を担っており、  
主に透析室を中心に、毎週

「生命に直結する  
重要な使命担う」

「生命に直結する  
重要な使命担う」

職場紹介

# 頑張っています

## 第5回 臨床工学技士編

## 当院の顧問弁護士が、悩みの相談に応じます。

悩みを引きずらず、思い切って相談してみましょう!

借金・債務整理

相続・遺言

■相談無料■

交通事故

離婚問題

●ご希望の方はお気軽に当院の横井事務長までご一報ください。

etc.

担当弁護士 上田 勝啓 (札幌弁護士会所属)

☎0142-21-1400(代)

悩みは万病の元

# その悩みひとまず 弁護士へ

法律相談始めます

※秘密厳守



## 第25回ストーリーナビリテーション 北海道講習会へ参加して



病棟看護師 長橋 久美子

今回私は、第25回ストーリーナビリテーション北海道講習会へ参加し、勉強をさせて頂きました。3日間に渡る研修は、20時間と長い研修でありましたが、大変学ぶことの多い研修でした。

当クリニックでは、膀胱癌の治療のため、尿路ストーマをつくられる患者様は、年間で5～6例いらっしゃいます。私は、これまでの看護師経験の中で、当クリニックに勤めるまでは、実際に尿路ストーマの患者様と直接関わる事はありませんでした。

手術後、順調に経過すると患者様は早ければ2週間ほどで退院されます。しかし、患者様は膀胱を切除した後の尿の排泄方法が変わること、ボディイメージが変わることを、受け入れていかなければなりません。そして自分で、または家族の協力を得ながら、管理方法を身につけなければなりません。

短い入院期間の中で、尿路ストーマについて患者様やご家族は必死になり、ストーマ管理について覚え、退院していきます。ストーマ管理の経験が

浅い私は、患者様やご家族と一緒にストーマ管理について勉強させて頂きながら、もしも自分だったら、自分の家族だったらと考えていく中で、どうしても少しでも力を抜いて、楽にストーマを受け入れ、管理していくことが出来るのだろうか?と思うようになっていました。

そこで、今回の研修に参加する事で、短い入院期間の中、管理方法の説明に重きを置いてしまう現状に対して、研修で学んだ事はストーマを受け入れていく過程には、ストーマが出来てからではなく「手術を受ける前から始まっている」との言葉に、私の中での答えが明らかになった思いでした。

これからは、今まで以上に安心し、退院して頂けるよう、これまで以上に患者様の思いを、外来と病棟で共有し、患者様並びにご家族との会話を大切にしていきます。そして患者様の力になっていけるよう、私自身がストーマケアについて、さらに学ぶ姿勢を深め、日々の看護業務に臨んでいきたいと考えています。

## 第2回 伊達市噴火湾文化研究所 同人展

■伊達展■7月18日(水)まで・入場無料●会場/だて歴史の杜カルチャーセンター・ハーパーホール  
●10:00～19:00(入場は18:30まで)

## 存在の美学 ギャラリートーク



野田弘志×永山優子  
「生きることと描くこと」

ナビゲーター 伊達市噴火湾文化研究所所長 大島直行

伊達会場 7/16(祝) 15:00～16:00 だて歴史の杜カルチャーセンター《1Fハーパーホール》

※いぶり腎泌尿器科クリニックは、地域医療への貢献とともに、地域社会への還元策として、文化振興に微力ながら貢献していきたいと考えています。

## 診察予約の方法を変更しました。

※待ち時間の緩和をはじめ、患者様の満足度アップを目的に変更しました。※詳しくは窓口でお問い合わせください。

- 受け付けは午前中8時から11時半まで  
午後13時から16時半までです。
- 尿検査がありますので予約時間の10分前にお越しください。
- 予約時間より早く来院されても、早くお呼びすることはございませんので、ご注意ください。

発行：いぶりぶ発行委員会 伊達市梅本町2番地15いぶり腎泌尿器科クリニック内 ☎0142-21-1400 📠0142-21-1401

発行/平成24年7月10日 ■4月・7月・10月・1月の年4回発行 ※本誌掲載の写真、記事の無断転用は固くお断り致します。 ●発行責任者：横井 浩